

◆帆苺謙治委員 おはようございます。今回の国の 3 次補正予算を受けて、12 月補正予算案は 20 億円ちょっとでしょうか。頑張っておられるのは評価するところではありますが、まず最初に、今回の 12 月補正予算案は何に特化したのか。その辺について、お伺いしたいと思います。

◎坂井武徳副部長(農地部) 県の農地部関係の 12 月補正予算案についてでございますけれども、委員御指摘のとおり、国の 3 次補正予算等への対応といたしまして、12 月補正予算額は県予算額で約 22 億円でございます。国の 3 次補正予算がまだ成立していない中で、県の 12 月補正予算の編成作業をしたということもございますので、内示が想定された地滑り防止、かんがい排水事業など、防災・減災関係の事業を中心に、堅めに補正予算を計上したものでございます。

◆帆苺謙治委員 そうだと思います。というのは、マスコミ報道といいますか、インターネットなどでも掲載されていると思うのですが、20 億円にプラスしてもう 20 億円でしょうか。全体では 40 億円くらいの数字となっているやに聞いております。この辺はどうなっているのか。そして、公表されています国の内示額と異なるわけです。堅めに計上したというのはいいのだけれども、今後、この差額等については、どのような対応をされていかれるのか。今後、また、すぐ補正をするのか。その辺を伺いたいと思います。

◎坂井武徳副部長(農地部) 委員御指摘のとおり、現段階で国から公表されている内示額は、おおむね 42 億円でございます。先ほど申し上げましたように、12 月補正で 22 億円の計上でございますので、差額は約 20 億円でございます。この差額につきましては、2 月補正に向けて財政当局と調整を進めてまいりたいと考えております。

◆帆苺謙治委員 分かりました。それから、マスコミ報道等によれば、4 次補正もあるやに伺っております。4 次補正の動きについては、どのように承知しておられますか。

◎坂井武徳副部長(農地部) 国の 4 次補正の動きについてでございますけれども、この間、農林水産省から情報収集に努めておりますけれども、なかなか具体的な情報は得られていないという状況でございます。農地部として得ているのは、新聞情報程度でございます。それによれば、歳出総額は約 2 兆 5,000 億円、農林漁業関係については約 1,600 億円とされております。来週、閣議決定の見通しという情報でございます。

◆帆苺謙治委員 農業農村整備事業が遅れている中であって、そういう朗報があるのであれば、頑張ってもらいたいと思っておりますし、4次補正とプラスアルファで、来年度予算のありようについては、どうお考えでしょうか。

◎坂井武徳副部長(農地部) 国の来年度予算につきましても、なかなか情報がないのでございますけれども、今の情報によりますと、日本再生重点化措置枠等で要望した事業費が減額されるなど、非常に厳しい状況にあるということでございます。

◆帆苺謙治委員 42億円の内、今回の12月補正で22億円ですか。そして、20億円が決まっていると。プラス4次補正が多分あるだろうということからすると、できるだけ取ってもらいたいなという思いがするのです。いずれにしても、県財政もあることでありますが、財政当局は、新潟県の農業は本当の基幹産業だという観点からも、予算については理解があると思っています。したがって、農地部サイドがしっかりと予算を確保するという覚悟を持って、4次補正、あるいは来年度の予算編成に向けて頑張らなくてはならないと思うのです。来年度予算を含めた、予算獲得に向けての部長の決意のほどをお伺いして終わります。

◎米田博次農地部長 今後の予算確保についてでございますが、委員御指摘のとおり、農業水利施設の老朽化の問題と、一方で、担い手を育成するためにほ場整備を進めていかなければならないという大きな課題があるわけでございます。農地部といたしましては、国において、公共事業全体への必要な予算総額をぜひ確保していただきたいということで、これまでも要請してきておりますし、今後、国の4次補正、それから平成24年度の当初予算と。先ほどお答えしたように、なかなか不透明な状況ではあるのですが、積極的に情報収集に努めまして、あらゆる機会をとらえて国費の確保に努めてまいりたいという決意でございます。